

ワールドサポーター (愛称)

正式名称：世界銀行債券ファンド（毎月分配型）

ファンドの概要

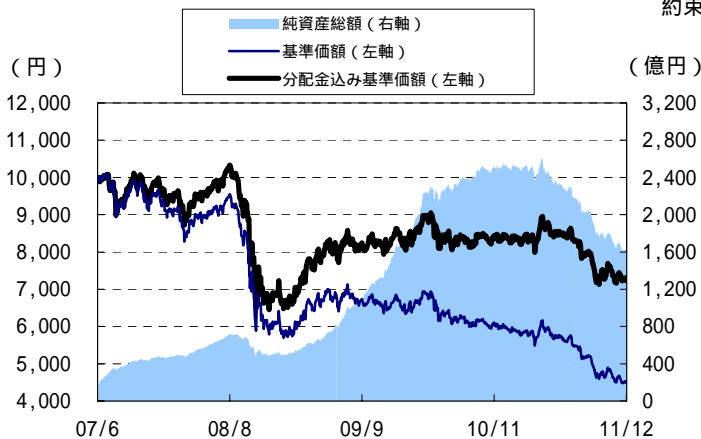
設定日：2007年6月21日 償還日：無期限
 決算日：原則毎月12日 収益分配：決算日毎（第2期以降）

- 【ファンドの特色】
1. 相対的に利回りの高い、新興国通貨建て世界銀行債券に投資します。
 2. 信用力の高い世界銀行が発行する短期債券を中心に組入れます。
 3. 毎月の安定分配をめざしながら、新興国を応援します。

運用実績

このレポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

< 基準価額の推移 >



分配金込み基準価額の推移は、分配金（税引前）を再投資したものを表示しています。基準価額は、信託報酬（年率1.268%（税抜1.223%）程度）控除後の値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

基準価額： 4,478円
 純資産総額： 1,602.05億円

< 基準価額の騰落率 >

| 1カ月 | 3カ月 | 6カ月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|--------|--------|---------|---------|-------|---------|
| -0.73% | -1.27% | -14.97% | -12.42% | 5.76% | -27.79% |

基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資し計算しています。

< 基準価額騰落の要因分解 >

| | | |
|-------------|------------|------|
| 前月末基準価額 | 4,570円 | |
| 当月お支払いした分配金 | -60円 | |
| 要因 | ブラジルリアル | -8円 |
| | チリペソ | 5円 |
| | インドルピー | -4円 |
| | マレーシアリンギット | 0円 |
| | メキシコペソ | -1円 |
| | ポーランドズロチ | -1円 |
| | ロシアルーブル | -4円 |
| | 南アフリカランド | 12円 |
| | トルコリラ | -27円 |
| | ナイジェリアナイラ | -1円 |
| | ガーナセディ | 2円 |
| | ザンビアクワチャ | -1円 |
| タイバーツ | -1円 | |
| 債券・その他 | -3円 | |
| 当月末基準価額 | 4,478円 | |

上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

< 資産構成比率 >

| | |
|----------------------------|-------|
| ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA | 99.5% |
| マネー・オープン・マザーファンド | 0.1% |
| その他 | 0.4% |

< 分配金実績（税引前）と決算日の基準価額 >

| | 設定来合計 | 直近12期計 | 11・1・12 | 11・2・14 | 11・3・14 | 11・4・12 | 11・5・12 |
|------|---------|---------|---------|---------|----------|----------|----------|
| 分配金 | 3,180円 | 720円 | 60円 | 60円 | 60円 | 60円 | 60円 |
| 基準価額 | - | - | 5,887円 | 5,862円 | 5,740円 | 6,069円 | 5,711円 |
| | 11・6・13 | 11・7・12 | 11・8・12 | 11・9・12 | 11・10・12 | 11・11・14 | 11・12・12 |
| 分配金 | 60円 | 60円 | 60円 | 60円 | 60円 | 60円 | 60円 |
| 基準価額 | 5,646円 | 5,576円 | 5,125円 | 5,047円 | 4,700円 | 4,709円 | 4,567円 |

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ワールドサポーター (愛称)

ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスAのポートフォリオの内容

< 外国通貨別構成比 >

| | |
|-------------|-------|
| チリペソ | 18.1% |
| トルコリラ | 15.7% |
| ブラジルリアル | 15.2% |
| 南アフリカランド | 13.0% |
| メキシコペソ | 8.3% |
| ポーランドズロチ | 6.7% |
| インドルピー | 5.0% |
| マレーシアリングギット | 4.3% |
| ガーナセディ | 3.4% |
| ロシアルーブル | 3.1% |
| ザンビアクワチャ | 3.0% |
| タイバーツ | 1.6% |
| ナイジェリアナイラ | 1.5% |
| アメリカドル | 0.0% |
| | |
| | |
| | |
| | |

比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

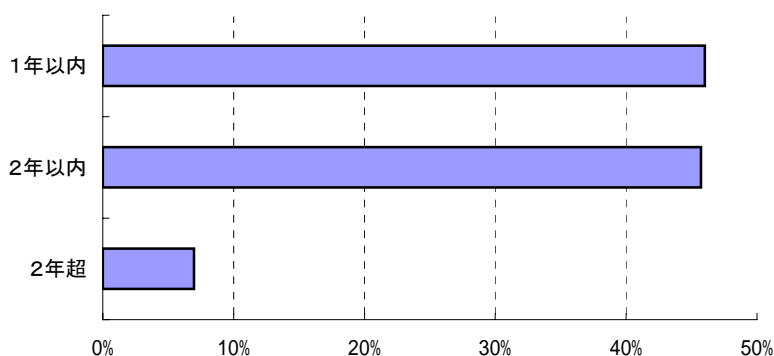
日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドより提供された情報です。

< 格付別構成比 >

| | |
|-------|-------|
| Aaa | 98.7% |
| Aa | 0.0% |
| A | 0.0% |
| Baa以下 | 0.0% |
| 平均格付 | Aaa |

比率は当外国投資信託の純資産総額比です。格付はMoody's、S&Pのうち、高い格付を採用しています。平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

< 残存別構成比 >



比率は当外国投資信託の純資産総額比です。変動利付債は次回利払い日までの日数で計算しています。

< 公社債種別構成比 >

| | |
|--------|-------|
| 世界銀行債券 | 98.7% |
| ソブリン債他 | 0.0% |

比率は当外国投資信託の純資産総額比です。ソブリン債は国債、政府機関債、政府保証債、国際機関債などです。

< ポートフォリオの特性値 >

| | |
|----------------|-------|
| ポートフォリオの最終利回り | 5.88% |
| ポートフォリオの直接利回り | 5.60% |
| ポートフォリオの平均残存年数 | 1.03年 |
| 組入債券の銘柄数 | 48銘柄 |

利回りは、個別債券および短期金融資産について加重平均したものです。最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。利回りは将来得られる期待利回りを示すものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ワールドサポーター (愛称)

運用コメント

運用概況

当月の基準価額は値下がりしました。通貨別に見ると、パフォーマンスが最も高かった3カ国は、南アフリカ、ガーナ、チリでした。一方、パフォーマンスが最も低かった3カ国はトルコ、ロシアとインドでした。

今後の見通し

欧州に対する否定的な見方が継続し、欧州経済の景気後退入りが盛んに議論される中で、金融市場にとっては12月も引き続き厳しい月となりましたが、重要な施策がECB（欧州中央銀行）によって打ち出されました。ECBは銀行向けに最長3年間の資金供給を実施し、適格担保の範囲を拡大しました。市場の主な焦点は、欧州経済が景気後退入りした場合の深刻さの度合いと2012年の世界経済成長に対してどのような悪影響をもたらすかに移っており、この点については市場参加者の間でも大きく意見が分かれています。主要先進国では金融緩和政策が引き続き継続されることが明らかであり、政策金利が今後かなり長期間にわたって極めて低い水準に抑えられる可能性が高いものと思われます。12月、ECBは政策金利を0.25%引き下げて1%とし、また市場に潤沢な流動性を供給する措置も継続しています。また、2012年には英国で追加の量的緩和策の実施の可能性も取りざたされています。新興国市場での経済は受当な水準の伸びを記録する一方で、先進国市場の経済は低成長にとどまるという世界経済の二層化は継続する可能性が高いと思われます。当ファンドでは、力強い成長力と大きな金利差からアジアよりもラテンアメリカへの投資を引き続き選好し、同地域でチリの投資比率を最大にしています。好調な経済成長と経常収支の黒字増大により、ペソは魅力的であると我々は考えます。また通貨下落により投資妙味を増したブラジルの投資比率を高めています。欧州内では欧州と中東の間にある地の利を生かし、両地域の力強い成長から恩恵を受けるとされるトルコへの投資比率を最大にしています。また、トルコの金融システムは盤石で、欧州問題からの逃避先の役割を果たしています。アフリカ諸国の通貨は魅力的な利回りを提供する一方で、他の新興国通貨との相関性が低い状態が続くと見ているため、アフリカ諸国に対する投資比率も維持することを検討します。

投資環境

<中南米>

【チリ】

当月、チリペソは円に対して上昇しました。中央銀行は当月、5.25%の金利を据え置きましたが、今後数カ月のうちに利下げが行われるであろうという観測が浮上しています。中央銀行は四半期の金融政策報告書の中で、2012年の成長予想で経済活動の減速リスクがあることを示唆し、政策金利の引き下げを想定しているようです。

【ブラジル】

当月ブラジルレアルは対円で下落しました。ブラジル政府は、海外投資家に対する課税措置の緩和を行ない、また、財政政策を緩和方向に転換し始めました。また、中央銀行の金利引き下げサイクルが終わりに近づいているのではないかと臆測も一部ででています。ブラジル経済の成長ペースは減速していますが、足元の雇用統計は非常に好調な内容になっています。

【メキシコ】

当月、メキシコペソは対円で下落しました。メキシコの経済指標は総じて強弱入り交じった内容となっています。主要製造指数は上昇しており、経済活動が増加していることを示しています。しかし、消費者信頼感指数や鉱工業生産指数はいずれも低下しており、10月の小売売上高も市場予想よりも弱い結果となっています。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ワールドサポーター (愛称)

運用コメント

<アジア>

【インド】

当月インドルピーは対円で下落しました。中央銀行は当月、政策金利を8.5%に据え置きましたが、引き締めサイクルは終わりに近づいたことを明らかにし、「今後、成長に対するリスクの高まりに備えて金融政策では引き締めのサイクルを撤回するだろう」と述べました。

【マレーシア】

当月マレーシアリングgitは円に対して若干下落しました。輸出は予想を上回る伸びを見せ、貿易黒字も予想以上の伸びとなりました。製造業売上高は前年同期比で高水準でした。

【タイ】

当月、タイバーツは円に対し下落しました。タイでは洪水の影響が未だ続いています。財務相は洪水の影響により、第4四半期の経済はマイナス成長になるだろうと述べています。

<ヨーロッパ・中東>

【トルコ】

当月、トルコリラは円をはじめ主要先進国通貨に対して下落しました。市場予想通り、トルコの中央銀行は政策金利を据え置きました。対外不均衡の是正が順調に進んでおり金融当局はますます自信を深めています。

【ポーランド】

当月も予想に反してポーランドの経済活動は伸び続けています。世界的に先行き不透明感が増す環境下で、ポーランドの鉱工業生産、小売売上高は引き続き好調さを持続しています。当月、ポーランドズロチは対円ではほぼ横ばいでしたが、欧州の他通貨に対しては上昇しました。

【ロシア】

国内の不透明な政治情勢の結果、当月のルーブルは円を含む大半の先進国通貨に対して大きく下落しました。ロシアでは下院の総選挙が実施されましたが、不正が発覚しました。3月の大統領選までは、急速に台頭する政治リスクが注目すべき重要な流れとなっています。これに伴い、資本の対外流出の可能性が高まり、今後のルーブルのボラティリティはさらに高くなるでしょう。

<アフリカ>

【南アフリカ】

当月、南アフリカランドは対円、対ドルとともに上昇しました。当月発表された経済指標は全般的に市場予想より弱い結果となっています。GDP(国内総生産)成長率は、第3四半期では内需の低迷を反映したものでした。生産活動に関する経済指標も期待外れの結果となりました。

【ガーナ】

当月ガーナセディは堅調となり、円に対して上昇しました。ガーナ中央銀行は、市場の大半が予想していた通り、政策金利を12.5%に据え置きました。経済成長関連の数値は上昇しており、インフレが勢いをつけていることから、利下げの可能性は殆どありませんでした。月初に2012年予算案が発表され、2012年12月の総選挙までに財政赤字を対GDP比で現行から引き下げることが目標にしました。IMFは、ガーナ政府のこの措置を税収拡大と構造改革への意欲として受け止め、ガーナに対する融資枠を引き上げることで同意しました。

【ザンビア】

クワチャは円に対しては最終的に若干下落しました。好材料は、直近のデータによると、ザンビアへの海外投資が引き続き非常に活発な水準にあることです。ここ数年においてザンビアは海外の主要な投資先になっており、対ザンビア海外直接投資は2009年から2010年にかけて400%以上の伸びでした。世界的に市場が混乱する中、これは非常に心強いことであり、海外の投資家がザンビアの今後の経済に大きな信頼感を寄せていることを示しています。

【ナイジェリア】

季節要因からナイラは円とドルに対し下落しました。当月、ナイジェリアの2012年予算が国会に提出されました。新予算は財政規律と長期計画といったどちらも以前の予算では欠けていた点に重点が置かれています。新予算では実質的には支出は減っており、財政赤字が対GDP比で、昨年より一段と低下することを意味します。

投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みメモ

- 商品分類 : 追加型投信 / 海外 / 債券
 お申込単位 : お申込単位につきましては、販売会社ないしは委託会社の照会先にお問い合わせください。
 お申込価額 : お申込受付日の翌営業日の基準価額
 お申込不可日 : 取得申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、取得のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
 信託期間 : 無期限（2007年6月21日設定）
 決算日 : 毎月12日（休業日の場合は翌営業日）
 収益分配 : 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。なお、分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
 ご換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額
 ご換金不可日 : 換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
 ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
 課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。課税上は、株式投資信託として取り扱われます。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

手数料等の概要

- ・お客様には、以下の費用をご負担いただきます。
 < お申込時、ご換金時にご負担いただく費用 >
 ・ お申込手数料 : お申込手数料率は、3.15%（税抜3.0%）を上限として販売会社が定める率とします。分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。
 ・ 換金手数料 : ありません。
 ・ 信託財産留保額 : ありません。
 < 信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用 >
 ・ 信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.268%（税抜1.223%）程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率〔年率0.945%（税抜0.90%）〕、投資対象となるケイマン籍円建外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の組入れに係る信託報酬率〔年率0.323%程度〕となります。このうち、当該外国投資信託の信託報酬率は、純資産総額や為替相場によって変動します。それに伴ない、実質的な信託報酬率も変動します。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
 ・ その他費用 : 組入る有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など
 その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様はファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
 受託会社 : 野村信託銀行株式会社
 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。
 日興アセットマネジメント株式会社
 【ホームページ】 <http://www.nikkoam.com/>
 【コールセンター】 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

お申込みに際しての留意事項

リスク情報

- ・当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。
- ・したがって、投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様へ帰属します。
- ・投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。
 【為替変動リスク】
 - ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
 - ・新興国通貨建ての債券は、新興国の通貨の為替変動に影響を受けます。新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

【カントリー・リスク】

- ・投資対象となる債券は新興国通貨建てで起債されたものであるため、新興国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- ・一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

【価格変動リスク】

公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

【流動性リスク】

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

【信用リスク】

公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意事項

- ・当資料は、投資家の皆様に「世界銀行債券ファンド（毎月分配型）/愛称：ワールドサポーター」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
加入協会：社団法人投資信託協会
社団法人日本証券投資顧問業協会

お申込みは

| 金融商品取引業者等の名称 | 登録番号 | 加入協会 | | | |
|---|----------|------------------|-----------------|---------------|--------------------|
| | | 日本証券業協会 | 社団法人日本証券投資顧問業協会 | 社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| 株式会社愛知銀行 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第12号 | | | |
| 株式会社青森銀行 | 登録金融機関 | 東北財務局長（登金）第1号 | | | |
| 株式会社秋田銀行 | 登録金融機関 | 東北財務局長（登金）第2号 | | | |
| 株式会社阿波銀行 | 登録金融機関 | 四国財務局長（登金）第1号 | | | |
| 株式会社イオン銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第633号 | | | |
| 株式会社池田泉州銀行 | 登録金融機関 | 近畿財務局長（登金）第6号 | | | |
| 株式会社岩手銀行 | 登録金融機関 | 東北財務局長（登金）第3号 | | | |
| エース証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長（金商）第6号 | | | |
| S M B C 日興証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第2251号 | | | |
| S M B C フレンド証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第40号 | | | |
| 株式会社 S B I 証券 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第44号 | | | |
| 株式会社大分銀行 | 登録金融機関 | 九州財務局長（登金）第1号 | | | |
| オーストラリア・アンド・ニュージーランド・バンキング・グループ・リミテッド（銀行） | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第622号 | | | |
| かざか証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第58号 | | | |
| クレディ・スイス証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第66号 | | | |
| 株式会社佐賀共栄銀行 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長（登金）第10号 | | | |
| 株式会社佐賀銀行 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長（登金）第1号 | | | |
| 株式会社四国銀行 | 登録金融機関 | 四国財務局長（登金）第3号 | | | |
| 株式会社七十七銀行 | 登録金融機関 | 東北財務局長（登金）第5号 | | | |
| 株式会社ジャパンネット銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第624号 | | | |
| 株式会社十六銀行 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第7号 | | | |
| 株式会社常陽銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第45号 | | | |
| ソニー銀行株式会社 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第578号 | | | |
| 株式会社第四銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第47号 | | | |
| 高木証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 近畿財務局長（金商）第20号 | | | |
| 株式会社千葉銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第39号 | | | |
| ちばぎん証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第114号 | | | |
| 株式会社東京都民銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第37号 | | | |
| 株式会社徳島銀行 | 登録金融機関 | 四国財務局長（登金）第10号 | | | |
| 株式会社長崎銀行 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長（登金）第11号 | | | |
| 株式会社西日本シティ銀行 | 登録金融機関 | 福岡財務支局長（登金）第6号 | | | |
| 西日本シティ T T 証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 福岡財務支局長（金商）第75号 | | | |
| 野村證券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第142号 | | | |
| 株式会社八十二銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第49号 | | | |
| 八十二証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第21号 | | | |
| 浜銀 T T 証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第1977号 | | | |
| 株式会社百五銀行 | 登録金融機関 | 東海財務局長（登金）第10号 | | | |
| 百五証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 東海財務局長（金商）第134号 | | | |
| 株式会社百十四銀行 | 登録金融機関 | 四国財務局長（登金）第5号 | | | |
| 株式会社広島銀行 | 登録金融機関 | 中国財務局長（登金）第5号 | | | |
| フィデリティ証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第152号 | | | |
| 株式会社福島銀行 | 登録金融機関 | 東北財務局長（登金）第18号 | | | |
| 株式会社北陸銀行 | 登録金融機関 | 北陸財務局長（登金）第3号 | | | |
| マネックス証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第165号 | | | |
| 株式会社みずほ銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第3号 | | | |
| 株式会社三井住友銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第54号 | | | |
| 水戸証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第181号 | | | |
| 株式会社南日本銀行 | 登録金融機関 | 九州財務局長（登金）第8号 | | | |
| 株式会社宮崎銀行 | 登録金融機関 | 九州財務局長（登金）第5号 | | | |
| 株式会社宮崎太陽銀行 | 登録金融機関 | 九州財務局長（登金）第10号 | | | |
| 株式会社武蔵野銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第38号 | | | |
| 株式会社横浜銀行 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第36号 | | | |
| 楽天銀行株式会社 | 登録金融機関 | 関東財務局長（登金）第609号 | | | |
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長（金商）第195号 | | | |